

**製品名: PDK1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15916**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	50kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PDK1
別名	PDK1; PDHK1; [Pyruvate dehydrogenase [lipoamide]] kinase isozyme 1; mitochondrial; Pyruvate dehydrogenase kinase isoform 1
遺伝子 ID	5163.0
SwissProt ID	Q15118
免疫原	PDK1 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 80-160

**背景**

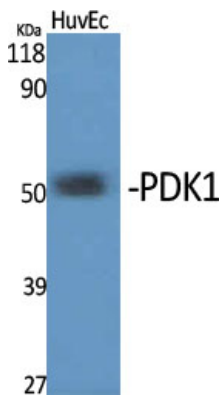
ピルビン酸脱水素酵素 (PDH) は、ミトコンドリアに存在する多酵素複合体であり、ピルビン酸の酸化的脱炭酸反応を触媒し、哺乳

類における炭水化物燃料の恒常性制御を担う主要な酵素の一つです。酵素活性はリン酸化 / 脱リン酸化サイクルによって制御されています。PDHは、特異的なピルビン酸脱水素酵素キナーゼ (PDK) によってリン酸化されると不活性化されます。この遺伝子には、複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2013年6月]、触媒活性: ATP + [ピルビン酸脱水素酵素 (アセチル基転移)] = ADP + [ピルビン酸脱水素酵素 (アセチル基転移)] リン酸。機能: ミトコンドリアピルビン酸脱水素酵素複合体の E1 $\alpha$  サブユニットのリン酸化を阻害し、糖代謝の調節に寄与する。類似性: PDK/BCKDK タンパク質キナーゼファミリーに属する。類似性: 1つのヒスチジンキナーゼドメインを含む。組織特異性: 主に心臓で発現する。、

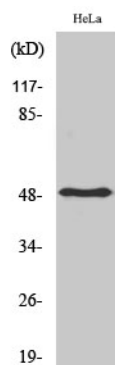
## 研究分野

T細胞受容体;Fc イブシロン RI;神経栄養因子;

## 画像データ



PDK1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



PDK1 ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析